



●NO. 524 2011/12 第1例会●



テーマ 『 Let' s Enjoy Rotary 』

- 創立日：S33年1月10日 ●RI加盟認証日：S33年2月6日
- 会長：杓名俊裕 ●会長エレクト：大見 宏 ●副会長：石川 博 ●幹 事：永谷文人
- クラブ会報：神谷 研 寺田孝司 恒川憲一
- 例会日：毎週金曜日 12：30～13：30 ●例会場：碧海信用金庫本店3F／安城市御幸本町15-1
- TEL：0566 - 75 - 8866 ●FAX：0566 -74- 5678
- Email：anjo-rc19580206@katch.ne.jp ●HP：<http://www.anjo-rc.org>

第2665回例会

2011年12月2日(金)12時30分から13時30分
 司会者：山口研君
 ソング：「君が代」、「奉仕の理想」
 卓上花：スターチェリー レモンリーフ
 ゲスト：石川博君(安城)
 ビジター：なし
 SAA：成田孝則君(代理)

出席報告

出席委員会：内藤教恵君
 会員57名 出席義務者44名 出席33名 欠席11名
 内出席免除者の出席10名 出席率79.62%
 修正出席率11月18日第2663回例会94.54%

年次総会

定足数の報告 (永谷文人幹事)

会員数57名 本日出席者42名 委任状出席者12名
 安城RC細則第5条第3節の規定により本年次総会は成立している旨宣言。

議長：杓名俊裕君
 議事録署名人：成田孝則君

議 事

議案1 次年度役員およびに理事の選出

提案者：会長エレクト大見宏君
 提案内容：理事大見宏以下13名
 票決結果：承認

提案1 功労会員制度の創設

退会者の中で安城RCに対し在籍中に特に功労が豊かであった会員に対し、功労会員制度を新設したい。

【功労会員資格】

1. 75歳以上
2. 在籍15年以上

3. その他理事会承認者
 ただし、本人の希望で名簿から削除も可能

【功労会員の特典】

1. 会費無料
2. 例会参加(ビジター扱い)
3. クラブ事業計画・各種報告の送付
4. 訃報案内
5. 同好会への参加
6. その他必要と思われる案内の送付

★ 功労会員制度の創設に関し皆様のご意見をください。

安城学園よりベートーベン第九交響曲演奏会の広報

日時：12月11日(日)15:00開演
 会場：安城市民会館サルビアホール

会長挨拶 会長 杓名俊裕君

(連絡事項)

1. 12/25にクリスマス家族例会(会員家族親睦例会)をマリオットアソシアホテルにて開催します。
2. 会員募集中 会員募集情報の提供をお願いします。
3. 1/22 伊勢神宮参拝計画が決定しました。
4. 明治用水緑道 中井筋 四季桜が満開です。



今月のお祝い

会員誕生日祝	寺部暁君(12/1)		
夫人誕生日祝	奥田真理子様(12/5)	寺田幸世様(12/7)	横田敏子様(12/10)
	小野内友子様(12/10)	原田幸子様(12/18)	岡田圭子様(12/22)
結婚記念日祝	石川博・よしご夫妻(12/16)	野村聡・みとご夫妻(12/17)	

(親睦活動委員会 磯貝廣治君)



安城ロータリークラブ 週報

ROTARY CLUB OF ANJO



(あいさつ)

本日の元気印企業をご紹介します。

“最大のサービスは、いいものを安く”を掲げる株式会社ヤマダ電機です。

「まねされるのは、当たり前」と自信を持って語るのは、(株)ヤマダ電機代表取締役会長兼CEO山田昇氏(やまだ のぼる)(68歳)です。

山田昇氏の経営信条は、①創造と挑戦、②感謝と信頼、③全国チェーンに3,4番手はありえない!、です。

(株)ヤマダ電機は、2010年3月期現在、売上高2兆161億6100万円、経常利益1,015億5000万円、資本金710億9000万円、時価総額5,315億9000万円で東証一部に上場しています。

山田昇氏は、1943年宮崎県にて生まれ、1963年日本ビクター(株)に入社(1973年に退社)、1973年ヤマダ電化センターを創業(個人経営)しました。1983年(株)ヤマダ電機を設立し、2002年家電業界トップの売上(5,600億円)を達成し、2005年には専門量販店初となる売上高1兆円を達成しています。2011年(株)エス・バイ・エル(東証一部)を子会社化し、スマートハウス事業を強化し、住宅を丸ごと販売する(建物・電化)事業を現在新規展開中です。

順調な経営に見える(株)ヤマダ電機ですが、創業直後のヤマダ電化センター時代、訪問販売が裏目に出て、社員が顧客を持って次々独立し、業績が悪化しやむなく在庫処分で全品2割ディスカウントしたら、商品が飛ぶように売れました。そのような経験から、①店員個人の力量に頼る商売は危険、②ディスカウント価格はサービスの一つ、という経営哲学を身を持って学びました。業績悪化した厳しい経営環境では、銀行からの融資が受けられなかったため市場から資金調達しました。市場から得た豊富な資金を基に、日本一の全国チェーン量販店に成長しました。俗にYKK戦争としては、Y(株)ヤマダ電機)が完全に勝者となりました。

そこで、本日のまとめは、“三年先”を見た経営の積み重ねが重要であるとします。

幹事報告 幹事 永谷文人君

*例会終了後会員増強検討会を会議室で行います。

*親睦活動委員会よりクリスマス会登録料を集金いたします。

*安城学園主催の演奏会のお知らせがきております。チケット2000円、事務局にて販売中!

*1/16~19日カンボジア井戸掘り参加者本日締め切りです。

ニコボックス報告 近藤裕保君

・本日のニコボックスメッセージの紹介。

卓話

・クラブフォーラム クラブ奉仕委員会

・テーマ:東日本復興支援報告

・卓話者:石川博君(安城)

MC東日本復興支援ボランティアのDVD放映(約10分)

東日本大震災が発生した3月11日から約1ヶ月後の4月16日から毎週週末に現地へ赴き、復興支援のためのボランティアを行っています。

今日出発するボランティアで55回目となります。今回は山口研君が同行します。

仮設住宅に住んでいる被災者の方々には、150万円の一時的な金が支払われましたが、約50万円は電化製品の購入をしなければならず、残り約100万円で電気代や食費を賄わなければなりません。

コーヒーなどはとても飲めないで、自身が被災者である市役所職員に対し、慰労の気持ちを込めて特に配りたいと思います。

生活環境に馴染めずコミュニティがうまく形成できず、将来に絶望し、今、自殺者が多くなっています。

私は女川町を中心に活動しています。女川町では6,000人のうち80%の家が流出してしまいました。1ヶ月に1回、ふれあいうどんを食べてもらいたいと思って活動しています。うどんの具は母があげを煮てくれます。一度に700食分のあげを煮てくれますが、とても時間がかかります。炊き出しのうどんの味付けは大変好評で、最近ではうどん屋さんと呼ばれるようになってきました。夏にはカキ氷やとろろも振舞いました。安城RC提供のテントも2張届けました。

先日現地で在日フランス人協会の方々にお会いし、現地入りされたフランスの首相とも交流させていただきました。在日フランス人の方々毎週支援するために現地に入っています。

11月23日に開催した西三河分区ガバナー補佐杯親睦ゴルフ大会のときに参加者の皆さんからお預かりした義捐金(浄財)177,000円は、東日本復興支援ボランティアの食材購入やインスタントコーヒーなどの購入に当て、有効に使わせていただきます。

近々安城学園の生徒さんも復興支援ボランティアに参加するかもしれません。

どちらにしても、まだまだ息の長い支援が必要です。